

## 【主要科目の特長】

### ・ 幼児教育学科第一部

授業科目	内 容
発達と教育の心理学	「心理学」の視点から、言葉はどのように発達していくのか、社会性はどのように身に付いていくのかなどについて、人間の成長や発達を学んでいきます。幼児期だけではなく、青年期や高齢者までの幅広い知識を修得できます。
基礎音楽Ⅱ	ピアノの個人レッスンを中心とした授業で、簡単な伴奏をつけて弾けるように練習します。学生一人一人のレベルや進捗にあわせて、教員が指導するため、学生のペースで着実にスキルを身に付けることができます。
乳児保育Ⅱ	子どもは月齢によっても、できること、できないことが違います。その一つ一つを知り、発達段階を踏まえた子どもとの関わり方を学びます。これらは保育の現場に出た際に、年齢に応じた接し方に関する重要な知識です。

### ・ 幼児教育学科第三部

授業科目	内 容
遊びと運動	子どもが運動遊びをする時の注意点や指導法を学びます。本学の付属幼稚園の子どもたちを招いて、実践的に学ぶことができる授業です。運動が苦手な子どもにどのようにアプローチすれば良いか、子どもと実際に関わりながら学ぶことができます。
子どもと表現 (身体)	身体全身を使った表現方法を学びます。子ども向けのダンスを自分たちで考えたり、新聞紙やペットボトルなどの身近な素材を使った表現も体験したりします。保育の現場の運動会など、ダンスを創作する場面で役立てることもできます。
保育実習指導Ⅰ (保育所)	保育実習に向けて、指導計画の立て方や記録の取り方を学び、教材の制作の仕方を身に付けます。さらに実習後は教員の指導を受けて、じっくりと自分の活動内容を振り返ることを通して、実習で気付いたことを着実に力に変えることができます。